

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報 告 書



日時	令和元年 10 月 7 日（月） 午後 6 時 30 分～8 時 20 分		
場所	北の峰コミセン		
参加者数	26 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	教育長	近内	栄一
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀淵	雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上	勝義
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

本日は北の峰コミセンで、北の峰町、学田三区、御料地区のみなさんに集まっていただき、感謝を申し上げます。

昨年の地域懇談会は、鉄路の問題と新庁舎の関係で説明しました。新庁舎は基本設計を市民のみなさんに説明し、パブリックコメントも終えて次の段階に進もうとしています。

JRの関係では、みなさんの存続に向けた期待を受け、今年の春にJR北海道とアクションプランをつくり、乗車率を上げること、市民に関心を持ってもらうことの取り組みを決めました。北海道では緊急的、臨時的措置ということで2億円の支援を決めました。今年と来年の2年間では総額4億円を支援することになります。そのうち、富良野市が負担するのは1年あたり150万円で、9月議会で承認をいただきました。このあと、自治体としても効果が見られるかどうかを注視していきたいと思います。この2年間の取り組みは、令和3年に国が法改正により行うJR北海道への抜本的な支援につながる試金石となる取り組みです。地元としての思いを国に届けるための大切な2年間です。

今回の地域懇談会は「これからの富良野市のまちそだて」と「地域の課題」がテーマです。地域に出向き、地域の活動を知ること、地域懇談会の重要なところ、地域の課題についても意見をいただきたいと思います。

まちそだての関係では、今年と来年の2年をかけて富良野市の新しい総合計画の策定を進めています。令和3年からはじまる総合計画の中に、みなさんの意見も取り入れたいと思っています。みなさんが普段生活している中で、こんなところが便利になれば良いとか、こんな取り組みができれば富良野の魅力を高めていけるのではないかなという意見もいただきたいと思います。

【懇談会の意見と回答】

市民協働（自治会）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○町内会の状況で困っている。外国人による不動産の取得、不動産関連会社の大きな看板や事務所、住民不在のコンドミニアムや貸別荘が増え、観光客がかなり増えている。一部の観光客は敷地内に立ち入り不安を感じる住民もいる。町内にある空きビンポストには大量にゴミの不法投棄があり、市から指摘されるが住民としては驚くしかない状況。一部の建設業者は立ち去るときに布団などを不法投棄していく。ごみステーションへの不法投棄は地域住民が処分しなければならず、住民は嫌気を出し土地や住宅を売却して他のまちに移り住む人が増えている。町内会活動に支障が出てくるのではという不安がある。将来を見据えたSDGSの11番目には住み続けられるまちづくりがある。市としてどのような助けができるのかを教えてほしい。ゴミのポイ捨て条例があるが、市民や観光客に周知されていない。その状況をどのように考えているのか。町内ではごみの問題や夜中に花火をする迷惑行為もある。</p>	<p>○外国人の不動産取得に係る課題は議会でも出されています。市では問題があれば個別に対応しています。ごみは環境課、ホテル等の関係は経済部です。環境課では外国人向けにごみの表示板を作成するなど、その都度、個別の対応をしてきましたが、行政と地域が協働で解決に向けた取り組みを進めていきたいと思えます。町内会や住んでいる人と意見交換しながら、総合計画の中に盛り込んでいきたいと思えます。</p> <p>○町内会を担当しているのは市民協働課です。町内に住んでいる人を対象にアンケート行つてはどうかという話もありましたが、時間がかかるので、現在、考えているのは北の峰の各町内会の会長や役員に協力してもらい、持っている情報を聞き取りしながら、実態を把握し、市民生活部だけでなく経済部、建設水道部、総務部などの関係課と話をしながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>○不動産の動きが早すぎて町内会では状況がつかめない。3年後にできる総合計画では、もう行政は付いていけなくなる。町内会で総会をするときに、土地や建物ごとに外国人の所有が分かるように地図に色付けしたいと思っている。できれば概略で良いので市で図面を作ってほしい。旅館や戸建ての売買が毎日の</p>	<p>○差し迫った問題だと認識しましたので、開発行為は出てくるので分かりますが、個人売買は全く分かりません。固定資産の個人情報を見ることもできませんので、近くに住んでいる人たちから情報を収集しながら把握して進めていきますので、近々会合の場を持たせていただきます。</p>

<p>ように目前で行われている。そういう情報を町内ではほしい。今は北の峰第3町内会だけの問題だが、北の峰町全体に広がっていく問題だと思っている。</p>	
<p>○北の峰地区に関わる業者やインバウンド業者が、地域の環境のことで行政とどのようなつながりを持っているのか。そこが一番の要となる。業者が重要事項の説明をするのとは別に、売買の前段に行政が富良野市のごみ捨ての方法を説明するべき。相手が管理会社でも同じこと。この問題は明日にでも対応してほしいことで、総合計画でやってほしいというものとは違う。</p> <p>○行政が前に出てやってほしい。状況を抑えるだけではなく、連合町内会、町内会、旅館組合を含めたなかで、北の峰地域で海外の受け入れ態勢をどうするか。どういう課題があって、どう整理するのか。まずは組織づくりをして懇談を前に進めてほしい。倶知安、ニセコなど既に海外から多くの人を受け入れている自治体から情報を得て、個別の課題を前に進めてほしい。地域と行政が一体となった組織づくりをしてほしい。</p> <p>○外国の人を北の峰に招きたくないということではなく、あくまでも新しく来られた人と従来から住んでいる人、商売をしている人もしていない人も、みんなが仲良くしていきたいという趣旨。これまでも連合会、観光協会、旅館組合で観光客や住んでいる人たちを温かく迎えようということでマリーゴールドを歩道に植えて歓迎している。そのことだけは誤解のないようにしてもらいたい。</p>	<p>○観光の拠点地域で発展してきた北の峰町ですが、海外からの環境客や資本が入ってくるといふ地域の大きな課題です。市の経済は食と農業と観光で形づくられてまちです。北の峰はこのあとも期待する地域です。観光とリゾート地としての取り組みは、この地域で進んでいくことだと思っています。しかし、海外の方々とのトラブルは回避をしていく必要があります。回避の手段の考え方は、海外の人たちに日本の生活や文化の知識が入ってくる段階で関心を持ってもらい、理解してもらうことが大事です。新しく建てた施設を利用するインバウンドの人たちにも内容を伝えて行くことが大切です。市としての観光や生活文化が失われないよう、注視をしながら対応していきたいと思います。町内会役員のみならずにも苦労があると思いますので、負担を軽減するために行政の在りようも相談しながら、取り組みをしていきます。町内会の存続にもつながる問題ですので、行政もその中に入って調整し問題を解決していきたいと思います。行政としても実態をつかめていないのが事実です。まずは町内会の関係者に集ってもらい、この問題をどのように解決していくかという会議を持つことからスタートしたいと思います。</p>

防災・防犯（防犯）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○防犯カメラが北の峰に付いていない。グローバル社会が進み、情報管理や人の動きの管理、事故が起きたときの証拠として、防犯カメラが生かされている。総合計画に盛り込むのか。どこが窓口でやるのかを教えてください。</p>	

産業（雇用）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○労働人口の減少は最も危惧するところ。外国人労働者の規制が緩和されて働きやすくなる。農協や北印、観光産業では外国人労働力に支えられているのが実態。しかし、それでも労働者は足りていない。市として移住者と外国人労働力をどのように受け入れる体制を整えるのか。富良野に来ても宿舎がないという問題もある。</p>	

教育・文化・スポーツ（学校）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○緑峰高校再編で観光に特化した学科をつくるという話があったが、高校再編はどうなっているのか。</p>	<p>○緑峰高校の定員は160人で4間口で、定員割れは毎年60人です。2から3年後に1間口減らしたいといわれています。しかし、数合わせで減らすわけにはいかない、地域の職業地を育てる環境が必要なことから、商工会議所や地元の産業界に聞きながら、学科編成を検討してきました。沿線の教育委員会や市町村</p>

	<p>振興協会でも協議を行い、農業系、工業系、商業系（情報と流通）。農業は外せない。建設業界への就職が良好である電気システム科も必要。観光の学科編成ができないか協議しましたが、北海道では観光を教える先生を確保できないという課題がありました。全国をみていくと異文化コミュニケーション、語学、観光ビジネス、実用国語、ホテル業などでの長期間のインターンシップなど、来年4月からの新設される総合ビジネス科に入れていきます。中身は商業系の中に観光のことが勉強できるものです。課題は、観光業の実地研修のできる企業がまだ見つかっていないということ。緑峰高校は、来年4月から3間口になりますが、今年の入学者は70人しかいません。富良野高校も定員160人の4間口ですが、入学者は120人。2校で3間口分足りていない状況です。市内の中学校卒業生のうち35%が旭川や札幌に進学します。7月には「これからの高校を考える会」を立ち上げて、産業界や高校の同窓会、市P連、校長会で組織しています。これまでに3回会合を行い、それぞれの思いを捉えなければ魅力ある高校づくりはできないと考え、1年をかけて方向性を出していきたいと思っています。</p>
--	---

基盤整備（公園・緑地）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○道道北の峰線の北の峰のシンボルツリーが剪定で数本枯れ始めている。再度整備してほしい。</p>	<p>○問い合わせ対応します。</p>

基盤整備（都市）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○道路に面している場所や商業地に隣接する場所は、隣地との切り盛りで危険があるので、北の峰全体で宅地造成の規制を見直してほしい。	○規制は道道から上の区画でかかっています。それ以外の一般住宅では指導が難しい状況です。

基盤整備（交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○新空知橋の細い方の歩道は、雨の日は子どもが歩いていると車道の水がかかるということで、以前は夏だけ板が付いていた。新しくなったときからなくなっているが、以前と同じように防水用のプラスチック板と取り付けてほしい。	○歩道の板の件は、道路事務所に確認して戻すように地域要望を伝えます。
○昨年の除雪が悪かった。浮足で走っていたり、幅が確保されてないなどがないよう指導してほしい	

基盤整備（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○飲食スペースはあるのか。4階は景色が良いのでレストランがあれば集まれる場所になる。	○レストランは考えていません。売店はありますので、飲食スペースを利用してもらいます。

<p>○ビールパーティーができるような部屋はあるのか</p>	<p>○会議室の間仕切りを外すことで、今の文化会館の大会議室くらいのスペースは取ることができます。パントリーも設置します。</p>
<p>○屋上に上げられるのか</p>	<p>○屋上には上げられません。安全施設にも費用がかかるため断念しました。</p>

行財政運営（総合計画）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○総合計画策定は義務が課せられているのか</p>	<p>○平成 23 年の地方自治法改正により、基本構想についての市町村の義務化はなくなりましたが、重要なことであるため、議会に諮って基本構想の策定を考えています。</p>
<p>○総合計画が建物中心の出来高になっている。 これからの総合計画は、市民の心、市民同士の組織、教育、子育て、そういう心の育成教育が重要。建物ができたから達成できたというものではなく、お金をかけなくても市民同士のつながりが密になって、ボランティアが増えたり市民の組織が細かくできたり、そういう社会になっていかないと財政が持たない。それをどこが窓口になって、どのように進めるのかということ。担当課はどこにもないということにならないよう、行政の組織も見直しを行い、せっかく新庁舎に市民が活動できる場ができ、医療、子育て、福祉の相談できる場所ができようとしている。心の教育や市民の心を育てる部署をつくり、そういうことを大切にしていくという総合計画にしてほしい。建物を作るのは誰でもできるが、市民の心を育てることは非常に難しい。基準となる係数もない。でも地道にやっていかない</p>	<p>○総合計画の持ち方ですが、少子高齢化で人口も減っていきますが、その中で住んで良かったと思えるようなまちをつくっていくのが総合計画だと思っています。精神的な部分も含めて総合計画の中で検討したいと思います。</p>

と富良野市はもっと人口が減っていく。	
<p>○SDGS持続可能な開発目標ということで、次の総合計画はSDGDの考え方を中心につくるべき。環境の問題も中心にしてほしい。地球や人類へのメッセージと、文明社会から原点に立ち返るという意図から、環境を目標にした総合計画にしてもらいたい。前に進むことだけではなく、もう一度原点に立ち止まって考えてみてはどうかというメッセージを総合計画のなかに盛り込んでほしい。</p>	

行財政運営（公共施設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○山部中学校跡地をどうするのか。総合計画で10年先を見据えた場合、さらに閉校する学校はあるのか。施設を解体するのか、有効利用していくのか。有効利用するならどのようなかたちで使っていくのかを総合計画のなかに盛り込んでほしい。既存の施設は本当に必要なのかも検証してほしい。例えば、山部の野球場は、本当に必要なのか。年間どのくらい利用されているのか。年間でどのくらいの経費がかかっているのか。費用対効果も検証し、思い切ってやめることも施策の中では必要。ナイター設備を若葉球場に移設することによって、もっと多くの方が施設を利用するかもしれない。橋も使用頻度をみて必要な場所に絞って直していく。新しいものをやるだけでなく、今あるものの実態を検証して有効利用をしていくということを総合計画でやってほしい。</p>	<p>○公共施設も本当に使えるのか、集約できないか、代替えできないか、どういう使い方をするのかということ、国が自治体に策定させている公共施設再編総合計画で検討をするようになっていて、検討を始めています。その内容は総合計画とタイアップしていきます。</p>
<p>○旧北の峯ハイツは市の財産になっているが、</p>	<p>○旧北の峯ハイツは改修費用をかけて貸事務所</p>

<p>今後どのように使われていくのか。もう少し手をかけて民宿にできないか。壊されるなら良い。公募して再譲渡するとか。民間に委託するとか。なにか考えてほしい。</p>	<p>にしていますが、利用率は高くありません。利活用の方法は検討していきますが、それまでは現状どおりの利用にしたいと思います。</p>
--	---

【市長 閉会のあいさつ】

総合計画の関係では、建物ではなく心だということのほか、持続可能な社会を作っていくということがSDGSにもうたわれていますが、まさにそのとおりの総合計画が求められています。

教育・文化・スポーツ

教育では、これからの社会と地域をつくっていくのは教育の在り方が大きな柱になってきますので、総合計画のなかに子どもたちのコミュニティを絶やさないように、そしてそのことが身に着くような教育をしていきたいと思っています。

市民協働（自治会）

地域の抱える課題では、この会が終わったあとにどういう連絡体制をつくれるのかを打合せしたいと思います。地域の課題は改善できるものは早急に手をかけて対策をしていきたいと思っています。

基盤整備（新庁舎）

新庁舎のレストランは今の段階ではありませんが、庁舎の中身を育てることはこのあとの世代でも取り組めることです。必要に応じてレストランを設けたり、屋上を設けたりということは次の世代に任せたいと思っています。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
30-39 歳	男性	旧北の峯ハイツは観光やホテルのスタッフを増やすために、ホスピタリティーの学校にしてはどうか。
30-39 歳	男性	町内会や地域の困っていることを聞いた。今後も、このような場で行政と関わりができると良い。
50-59 歳	男性	新庁舎に飲食スペースをつくってほしい
40-49 歳	男性	「富良野ならではの」というものがない。どこにでもある町になっていくと感じる。
60-69 歳	女性	安全で安心して住み慣れた地域で住み続けられるように、北の峰地域を真剣に考えてほしい。高齢者が増えていく中で、地域コミュニティーを守っていけるように考えてほしい。
70 歳以上	男性	御料線の道路の拡幅を検討してほしい。冬道はバスや大型車と交差するときに恐ろしい。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ありきたりの話し誰も期待していない。何事にも積極的な話しをしてほしい。 ・魅力あると言うが発想力に欠ける。 ・医療の無償化は年齢を 18 歳までにする。 ・子どもたちに対する養育、育成の見えるものが少ない。 ・御料線の桜の植樹と基線からチーズ工場の並木化。